



奈良市議会議員

太田こうじ

夢づくり、
安心づくり、
奈良づくり

平素より私の議会活動にご理解を賜り、ありがとうございます。
奈良市議会では、令和3年新年予算を含む議案が3月定例会において3月2日より3月23日の間で審議されました。うち新年度一般会計予算については1388億円となり、前年度と比べて約53億円減の予算規模となりました。

投資的経費に限れば、前年度と比べて新斎苑整備事業、本庁舎耐震化整備事業、平城西中学校区小中一貫校校舎建設事業などの公共事業等の歳出が減ったことが理由の1因と考えられます。しかし、一条高等学校・中学校校舎建設事業における債務負担行為が令和3年度から6年度にわたって34億円計上される等、今後も厳しい市財源のなかで効率的な財政支出が求められます。

また新型コロナウイルス感染症については、今年に入り複数の都府県で緊急事態宣言が発出されましたが、奈良県内でも4月に入ってリバウンドの傾向があり、収束には一定の時間がかかる見通しです。奈良市においてのワクチン接種対応の時期等については決定次第、市ホームページ等で広報されますので、ワクチンに対する正しい理解のもと、希望される市民の皆様への接種が速やかに進むよう、私自身のホームページでも情報発信をしてまいります。

今号では、私が3月定例会で一般質問させて頂いた内容や議会・市政情報等を中心にご紹介をさせて頂いております。

市政報告
あそがき通信
Vol.15



奈良市議会3月定例会
令和3年度一般会計予算・
コロナ対応補正予算等可決

写真でみる市政情報(大和西大寺駅周辺)

◎大和西大寺駅南側の
玄関口が供用開始へ



大和西大寺駅南口バスロータリー図
(北方向は南側)

◎大和中央道(敷島工区)
現場を見学



敷島工区の現場を会派同僚議員と見学
担当課長より説明をいただきました

4月1日より大和西大寺駅南側でのロータリーが供用開始となりました。これまでバスの駐車場所が無く、路上駐車の状態が続いていましたが、ロータリー開設により解消されることとなります。大阪伊丹空港、奈良観光地、路線の各バス発着駅が新規設置されました。タクシーや身障用一般車両も乗降いただけますので奈良の新しい玄関口として賑わうよう期待したいですね。なお、北出口ロータリーについては令和5年を目標として引き続き整備が行われます。

敷島工区は秋篠町の北西から近鉄奈良線に沿って走る県道谷田奈良線までの総延長831m、市が事業着手している幹線道路です。平成10年に事業着手となった20年以上が経過していますが、未だ供用が開始されていません。自民党派として国土交通省、財務省へ予算面でのフォローアップの要望活動を続けています(令和2年度予算は4億円)。用地取得率は約96%、道路整備に関連する地域の皆様の課題を共有しつつも、残された区間の整備に向けて見守って参ります。

◎お聞かせください。

奈良市政についての疑問や意見をお聞かせください。また地域の集まり等でご依頼を頂ければ太田こうじが出張し、市政報告をさせていただきます。市民の皆さまの声が議会活動の原点です。

◎奈良市長選挙ならびに奈良市議会議員選挙の日程が決定
2021年は市民の皆様にとって市長、市議会議員39名を選択する4年に一度の重要な選択の年となります。日程は7月4日(日)告示、11日(日)投開票で選挙が執行されます。選挙権は18歳からとなりますので、是非ご関心をお寄せいただきたいと考えています。

◎太田晃司 経歴

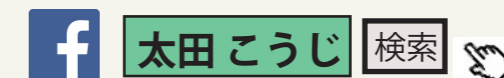
昭和54年(1979年)奈良市生まれ。市立あやめ池小学校卒、大阪明星中学・高等学校卒。関西学院大学法学部卒。2013年7月奈良市議会議員選挙に初当選(現在二期目)。自民党奈良市議会・結の会に所属。総務委員会委員長、議会改革推進特別委員会委員長、議会運営委員会委員。

奈良市議会議員 太田晃司事務所

〒631-0033 奈良市あやめ池南五丁目2-18

Tel:0742-40-5015

Fax:0742-40-5016 Mail:info@otakoji.net



ホームページにて日々の活動を発信中!

<https://www.otakoji.net>

<https://ameblo.jp/otakoji-nara>

3月定例会一般質問の 主な項目のご紹介

3月
定例会

ICT教育が生徒児童に 与える影響について

太田 令和2年度中に奈良市にはICT端末を活用した教育の推進により、全国に先駆けてタブレット端末導入によるPCが本市中学生、小学生に配布されている。一方でこれらの取組状況のなかで、生徒・児童に与える影響について、保護者等からお聞きした課題について数点、教育部長に問う。(略)

学校内や自宅での学習課題に取り組み際に、タブレット端末を長時間操作することにより生徒・児童に与える電磁波の影響がないのか、という心配の声が聞かれる。こうした環境のなか、ICT教育推進による利便性のメリット以外に、デメリットについてどう認識し、保護者や生徒・児童にこれらの課題解決を促そうとしているのか。

教育部長 本市においては、文部科学省が作成している「児童生徒の健康に留意してICTを活用するためのガイドブック」等の資料を活用しながら、市立小・中学校において運用

ルールを定めている。各校では、児童生徒に対して、運用ルールの内容について、例えば、正しい姿勢で使用することや使用時間を決めることなど、健康上の配慮も含めた適切なICT活用について指導するとともに、留意事項を示したものを各家庭に配布し啓発を行っている。



太田 現代社会は利便性追求の結果、毎日が目まぐるしく変化する社会であり、ストレスと共に生きる社会といわれる。こうした中、心の豊かさをいかに保つかを、学校のみならず家庭をはじめあらゆる教育現場に落とし込んでいるかが重要と考える。そこで、比較的容易に取り組める美しいものを愛でること、いわゆる美育という教育手法について学校現場での実践の事例などがあればお聞かせいただきたい。

教育長 (略) 例えば、学校によっては、保護者や地域の方のご協力を

橋梁の老朽化対策について

太田 橋梁の長寿命化について、659橋ある本市の修繕対象の橋梁のうち、4段階(I健全、II予防保全段階、III早期措置段階、IV緊急措置段階)に区分されるが、III早期措置段階の橋梁について、たとえば綾女新橋では生活道として利用されており、早期の改善対応の声が従前より求められている。令和3年度の修繕計画の考え方について問う。

建設部長 令和3年度の長寿命化修繕工事は14橋を予定しており、これまでとあわせて25橋の修繕工事が完了となる予定。残りの22橋についても令和5年度までの完了を目指しており、「綾女新橋」も、残りの22橋に含まれている。



蛙股池に架かる綾女新橋。通学路でもあり生活道でもあるが、老朽化対策は早期措置段階のIIIのまま

残る「III判定」の橋梁の中には、緊急輸送道路上や他の要件において耐震補強工事についても緊急性の高い橋梁があることから、令和3年度にはそれぞれ個別の橋梁について、修繕及び耐震の進め方、その方法について調査検討を行うこととしている。

太田 本市の国土強靱化地域計画に沿って考えれば、緊急輸送道路に架かる橋梁を優先することはやむを得ないと考えるが、綾女新橋(約85m)は通学路としても利用されており、緊急輸送道路以外に区分IIIとして修繕が求められている橋梁のなかで、最も長い橋長となる。平成30年の大阪府北部地震でも児童が通学中に橋梁の上で揺れを感じ、大変怖い思いをされたとの声も上がっている。修繕計画の優先順位を客観的な形で市民に示していただき、国の制度も活用しながら効率的な老朽化対策を実施いただきたい。

※緊急輸送道路とは、地震直後から発生する緊急輸送を円滑に行うため、高速自動車国道、一般国道及びこれらと連絡する幹線道路などを指します(阪奈道路等)。

いただきながら、玄関や教室に花を生ける活動を行っている。今後も、子どもたちの心を豊かに育むために、地域・家庭と連携協働しながら、自然の中での豊かな体験や、文化芸術を体験することができる機会を充実させてまいりたい。

DXの推進について

太田 DX(デジタル・トランスフォーメーション)が行政サービス、ならびに庁舎内の職場環境にどのような効果があると考えているのか、合わせて令和2年度の計上事業による主な効果について問う。

(※DXとは進化したIT技術を浸透させ、人々の生活をより良いものへと変革させるという概念)
総合政策部長 DXの推進は、厳しい財政状況のもと、多様化する行政ニーズに対して、限られた職員数で行政サービスのレベルを維持することはもとより、より住民本位のサービスを提供できるものと考えている。(中略)

障害者福祉に関する相談や市・県民税に関する内容の説明など9つの業務において、3月から、オンライン

市議会業務継続計画が 策定されました

議会改革

私が委員長を務めさせていただいている議会改革推進特別委員会では、所属委員より提案されたテーマについて議員間討議を重ねていきま

す。様々な党派等の考えを調整しながら議会としての成果物を作り上げていくことは容易ではありません。自然災害等への対応として危機管理マニュアルを奈良市では業務継続計画(BCP)として確立しましたが、奈良市議会版の業務継続計画の策定に向けて特別委員会ですべて計13回にわたって協議を重ねて参りました。震災の経験もある西宮市議会へも事例視察へ伺いながら、今年3月定例会で第1版策定の報告がされたところでです。

今後も定期的な危機管理訓練などを重ね、運用面での課題について防災関係団体とも情報共有を重ねたいと考えています。

また、同特別委員会でも議会関連文書のペーパレス化に取り組んでまいりましたが、令和3年度予算では、関連して議会棟のWiFi環境の

の活用により、市民の皆様にもわざわざ本庁にお越しいただくことなくより身近な出張所や行政センターで相談や説明のサービスを受けていただけるようになった。

意見 この秋にデジタル庁が創設されることも影響し、この他にも行政サービスとして目に見える形で事業化されつつあります。たとえば、奈良市でも市民課等の窓口の混雑・空き情報が窓口案内システム「ネコの目」により一目瞭然となったことは好例として挙げられます。

行政にとってDXは職員の業務負担を減らし、本来注力すべき業務にいかにより最適化を行い、利便性の高い行政サービスを市民に提供できるかが目的であり、職員削減ではありません。行政職員一人一人が今後この課題に真摯に向き合うことの必要性を提言しました。

この他、令和3年度予算の概要は、奈良市ホームページでご覧いただけます。https://www.city.nara.lg.jp/ist/pass-new/se/102114.html
で右記QRコードをご参照下さい。



強化を図るとともに、議員への情報提供ツールとして議員ポータル導入費用が議決されました(計約138万円)。議会審議や市民の皆様への情報伝達がさらにスムーズに進むよう努めて参ります。

なお、議員報酬・議員定数の見直しについては審議時間が十二分に取ることが出来ず次期への課題となりました。

仮称伏見地域ふれあい 会館が工事着手へ

市政情報

これまで議会においては「伏見地区ふれあい会館早期建設を求める請願書」が提出・審議されるなど、本地区でのふれあい会館整備事業が課題として挙がっていましたが、自治連合会様等のご尽力により、令和2年度に建設用地購入費、令和3年度には建築工事費等が計上され、年度内の供用が目指されています(菅原東一丁目56街区)。施設内では森林環境税を活用し、壁材に奈良市産木材を活用することも想定されているとのこと。地域の皆様に愛される施設となるよう期待をしています。